

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	057 地域再生計画・構造改革特区に係る総合調整及びその他庁内調整業務					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	-			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市職員
目的	政策立案及び事業企画に係る国や県等からの情報を収集した上で、庁内に共有するとともに部局横断的な案件の調整を図る。
概要 (取組内容)	国や県等から市町村企画担当課宛てに展開される情報を収集し、庁内に周知する。 部局横断的な施策や事業の実施意向を尋ねられた場合に、担当部署を特定した上で調整を図る。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	164	167	161	161	161	
	決算額	(千円)	39	93	73	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	39	93	73	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,415	2,337	3,103	3,103	3,103	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	150.00	120.00	140.00	140.00	140.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	国等からの補助金・交付金の情報を速やかに庁内に周知し活用を促進するとともに、活用を希望する部署からの相談に応じて個別に意見交換をしながら検討を進めた。	
成果	国等からの補助金・交付金の募集通知を庁内に周知することで、広く活用の機会を設けることができた。主にデジタル田園都市国家構想交付金の申請によって必要な財源を確保した。	
課題	業務	-
	組織、予算等	-
改善目標		

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	060 市長公約事業のロードマップ事業					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	-			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民
目的	公約事業の着実な実施を図る。
概要 (取組内容)	市長が選挙時に掲げた公約における6本の柱、135事業について、実施時期と工程等を各個票に落とし込んだロードマップを作成した上で、進捗管理や評価を実施し公表する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,587	5,354	4,036	4,036	4,036	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.70	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	200.00	240.00	240.00	240.00	240.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページにおける意見の募集
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和2年12月に公表した市長公約事業のロードマップ2020-2024について、進捗状況等を更新・評価した上で、令和5年6月に広く公表した。また、改訂作業においては事前に全体的なスケジュールを示す等、各担当課との調整の効率化を図った。				
成果	ロードマップにおける各事業の進捗状況を明らかにすることで、市政の透明性を担保することができた。				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>第一期ロードマップと比較した公約事業の増加に対して、効率的な評価方法の検討を進める必要がある。</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td>-</td> </tr> </table>	業務	第一期ロードマップと比較した公約事業の増加に対して、効率的な評価方法の検討を進める必要がある。	組織、予算等	-
業務	第一期ロードマップと比較した公約事業の増加に対して、効率的な評価方法の検討を進める必要がある。				
組織、予算等	-				
改善目標	令和6年度に予定の最終評価を効率的に実施できるよう、あらかじめ各事業の進め方を確認した上で、各事業の状況をわかりやすく市民に提供する。				

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	061 住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合「幸せリーグ」					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合規約			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	幸せリーグ参加自治体					
目的	住民の幸福実感向上に向けた基礎自治体間の相互の連携・協力、自治体職員の学びの場を設けることにより、基礎自治体が互いに切磋琢磨し、行政運営の一層のレベルアップを図る。					
概要 (取組内容)	幸福度の研究、住民の幸福実感向上に向けた施策等について情報交換及び意見交換を行うとともに、全国にその内容を発信し、基礎自治体における幸福度の取組を広める。 調査研究、意見交換、交流等を通じて、参加基礎自治体の職員の育成を図る。 実務者会議に参加し、テーマごとにグループに分かれ、年に数回集まって政策に関する議論を行う。					

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	17	18	17	24	24	
	決算額	(千円)	5	5	8	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5	5	8	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	733	730	740	740	740	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	本市の施策等の検討に資する他市区町村の情報を得られた。	
成果	実務者会議では政府関係者による国の取組状況等を、また、加入自治体による意見交換会では先進事例といった有益な情報を得ることができた。	
課題	業務	オンライン開催が主流となっているため、情報交換が一方通行となってしまうことが多く議論を深めづらくなっている。
	組織、予算等	得られた情報について、庁内でどのように共有すべきか検討する必要がある。
改善目標	-	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	062 首都圏業務核都市首長会議事務					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	多極分散型国土形成促進法、首都圏業務核都市首長会議規約			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	業務核都市に位置づけられた21市
目的	業務核都市に位置づけられた市の意見交換や連絡調整を行うとともに、共同で国への要望等を行う。
概要 (取組内容)	多極分散型国土形成促進法に基づき、首都圏業務核都市として位置づけられた21市の首長が年1回会議を開催し、業務核都市の育成整備等について意見交換を行う。 幹事会議（担当部局長等が出席）を年3回開催し、国の動向等の情報を収集するとともに、国に対して要望活動を実施する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	31	31	39	20	20	
	決算額	(千円)	0	7	4	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	7	4	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	733	730	740	740	740	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	一部の幹事会を対面開催することで、他の首都圏業務核都市との連携体制を構築するための一助となった。また、国土交通行政の動向等、本市の施策等の推進に資する情報を得られた。	
成果	書面での首長会議を経て、国土交通省に業務核都市の育成整備等に関する要望事項を提出することができた。	
課題	業務	
	組織、予算等	-
改善目標	-	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	063 国・県に対する予算等要望					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	-			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	国及び県
目的	市政の推進に必要となる政策や予算に関して国及び県に要望する。
概要 (取組内容)	関係部署から要望内容を取りまとめ、要望先へ要望書又は要望事項を提出する。茨城県予算編成等要望については、つくば市固有の課題を中心に要望書をまとめ、知事に手渡す。県政要望及び全国市長会関東支部総会提出案件については、広域的な課題を中心に要望事項をまとめる。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	20	19	14	34	34	
	決算額	(千円)	0	9	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	9	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,294	2,239	2,266	2,266	2,266	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年度の要望事項における進捗状況を確認し、継続して要望することの可否を検討した上で要望事項を精査した。	
成果	予防接種等に関する財政措置、産後ケア事業における広域的な実施体制の構築、県立高等学校への進学環境の充実、学校サポーター等の配置等における各種支援など、本市が推進する事業に関連する要望を実施することができた。要望の結果、精神障害者保健福祉手帳2級などの中度障害者への医療費助成、県立高等学校への進学環境の充実、スクールカウンセラーの人員拡充等について進展があった。	
課題	業務	県への要望事項の中には国の関与度が高いものがあるため、継続して要望することの可否を含め、今後どのようにして実現を目指すのかを検討する必要がある。
	組織、予算等	-
改善目標	-	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	064 友好都市交流事業					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	友好都市提携協定（荒川区、郡山市）			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	友好都市提携協定を締結した自治体、市民
目的	地域間交流を促進し、広範な分野での都市間交流を図る。
概要 (取組内容)	友好都市提携協定を締結した2都市と都市間交流を行う。 荒川区（平成20年(2008年)5月28日 協定締結） 郡山市（平成26年(2014年)10月31日 協定締結）

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	75	76	72	86	86	
	決算額	(千円)	0	17	4	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	17	4	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	733	730	740	740	740	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	友好都市との交流回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	5.0	3.0	4.0	5.0	3.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	イベントが従前どおり実地開催されるなどの対面による交流が再開されるとともに、令和6年度に友好都市10周年となる郡山市とは記念事業の実施に向けた調整を進めることができた。	
成果	荒川区とは、4年ぶりに実地開催されたイベントにおいて本市の特産物や観光スポット等をPRするとともに、郡山市とは、昨年度に引き続き学校給食における交流活動を実施するなど、様々な形で都市間交流を進めることができた。	
課題	業務	-
	組織、予算等	荒川区と郡山市は共に自治体間交流の担当部署が設置されており、イベントを通じた交流が目的であるため、本市における組織のあり方を検討する必要がある。
改善目標	-	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	065 地方版図柄入りナンバープレート事業					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	地方版図柄入りナンバープレート導入要綱			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民、事業者
目的	走る広告塔としてつくばナンバー地域の魅力を発信するため、図柄入りナンバープレート交付推進のためのPR活動を行う。
概要 (取組内容)	つくばナンバー交付対象の13自治体で構成する「つくば地域図柄入りナンバー推進協議会」が、地方版図柄入りナンバープレートの普及促進事業を地域一体となって実施する。 地方版図柄入りナンバープレートの交付により得た寄附金の活用方を検討する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	50	50	50	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	5	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	5	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,513	1,460	1,479	1,479	1,479	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	60.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	図柄入りつくばナンバー申請件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5,000.0	7,500.0	10,000.0	13,000.0	21,000.0	26,000.0
	実績	5,783.0	8,251.0	11,892.0	16,903.0	22,449.0	0.0
	指標の概要	関東運輸局調べ					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	寄附金活用事業については、各自治体の意向を踏まえた活用方針を定めた上で、令和6年度に具体化を進めることとした。	
成果	継続した普及促進活動によって、申請件数が全国でも上位を維持していることから、今もなお関心が寄せられていることが推察でき、地域の魅力発信につながっていると考えられる。	
課題	業務	寄附金活用事業を効果的に実施するため、各会員自治体の意向をくみ取りながら検討を進める必要がある。
	組織、予算等	-
改善目標	-	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	066 ユニバーサルデザイン推進事業					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約	52			係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市ユニバーサルデザイン基本方針			事業期間	毎年度	
根拠法令等	バリアフリー法、ユニバーサル社会実現推進法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民、市、事業者、市民団体、NPOなど
目的	誰もが楽しく、暮らしやすいつくば市の実現に取り組む。
概要 (取組内容)	つくば市バリアフリーマスタープランを策定し、各部署のバリアフリー化に向けた各施策を推進する。 つくば市ユニバーサルデザイン基本方針に基づいたまちづくりを全庁的に推進する。 ・職員研修（人事課） ・イベントユニバーサルデザインチェックシステムの維持管理

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	80	7,509	10,298	388	388	
	決算額	(千円)	79	6,358	6,761	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	79	3,223	3,938	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	3,135	2,823	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,221	5,061	4,435	4,435	4,435	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.70	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	70.00	120.00	120.00	120.00	120.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	つくば市バリアフリーマスタープラン策定協議会、パブリックコメント手続
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	ユニバーサルデザイン職員研修参加数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	75.0	0.0	138.0	79.0	96.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	バリアフリーマスタープランの策定に当たり、基礎調査（市民アンケート調査、関係団体ヒアリング調査、まち歩き点検）の結果を踏まえ、基本理念及び基本方針を設定するとともに、バリアフリーマスタープランの実効性を高めるため、具体的な取組を関連施策として設定した。	
成果	バリアフリーマスタープランの策定に当たっては、移動等円滑化促進地区や関連施策として位置付けるなど、本市の実情に応じ適切に進めることができた。また、定期的に協議会を開催することで、本市のバリアフリー施策に関連した多様な関係者間における合意形成を図りつつ、それぞれの知見によって本プランを磨き上げながら策定し、市全体におけるバリアフリー化を推進した。	
課題	業務	バリアフリーマスタープランを推進させるためには、都市計画、公共交通、地域福祉などの関連施策と相互に連携していく必要がある。
	組織、予算等	関係団体との連携が不可欠であり、調整に多くの時間を要することから、人員の拡充が必要である。
改善目標	バリアフリーマスタープランの推進に当たっては、関連施策の進捗状況を確認していく必要がある。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	073 行政経営懇談会					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民
目的	複雑多様化する行政環境の下で、有識者及び市民から広く意見を聴き、分権時代にふさわしい効率的で効果的な行政運営にいかす。
概要 (取組内容)	懇談会における、以下の協議事項についての提言を受け、市長に報告する。 (1)行財政改革に関すること。 (2)行政評価に関すること。 (3)その他、行政運営の推進に関し必要と認める事項に関すること。 ※令和5年度は休止

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	267	563	571	588	588	
	決算額	(千円)	339	271	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	339	271	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,766	3,385	2,072	1,625	1,625	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.40	0.30	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	164.00	270.00	0.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	平成29年度に策定した「つくば市市民参加推進に関する指針」を踏まえた市の取組を検証するため令和4年度まで毎年行政経営懇談会の協議事項として取り扱ってきたことから令和5年度以降における行政経営懇談会の在り方について検討した。	
成果	※令和5年度は行政経営懇談会の開催を見送った※ なお、令和4年度に行政経営懇談会から受けた提言に関する取組成果は、「080市民参加推進に関する事業」に記載している。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	令和6年度以降の行政経営懇談会の在り方や会議で扱う協議事項等について検討を行う必要がある。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	2	事務事業の統合、縮小を検討する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	074 行政評価事業					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民
目的	効果的、効率的で質の高い行政サービスの実施
概要 (取組内容)	「P・D・C・A」のマネジメントサイクルにより、事務事業の継続的な改善に取り組む。市の現状、課題等を客観的に把握し、事務事業の評価結果等を各施策や各事務事業の業務改善等に活用する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	89	45	48	34	34	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,917	2,969	2,962	2,860	2,860	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	75.00	100.00	82.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	評価結果公表（ホームページ）
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	改善が取り組まれた事務事業数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	927.0	870.0	881.0	882.0	883.0	0.0
指標の概要	事務事業の終了や統合等により、事務事業数は毎年度変わる。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	行政評価の実施状況を踏まえ、「よくある質問一覧」の記載内容の更新を行い、効率的な実施に努めた。	
成果	「主要施策の成果及び予算執行の実績報告書」と「事務事業マネジメントシート」は類似する項目が多いことから市の現状、成果と課題等をより的確に把握できる仕組みにつなげていけるよう関係部署と意見交換を行い連携を図るとともに、各事務事業の業務改善等に活用する機会を提供することができた。	
課題	業務	次期戦略プランの検討とあわせて、評価の在り方について、活用方法、作業工数等を勘案し検討を進める必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	部署によって評価を行う事業数に差があり、一部の部署では評価に係る作業工数が多くなっている。今後、戦略プランの改定に伴い、評価の在り方について事務事業マネジメントシートの活用方法等を含めた検討を行っていく必要がある。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	075 パブリックコメント手続事務					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市パブリックコメント手続に関する要綱			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民、市職員
目的	市民の市政への積極的な参画を促進し、市民に対する説明責任を果たす。
概要 (取組内容)	市ホームページにおける実施予告の上、所定の場所での閲覧及び市ホームページへの掲載により計画等を公表し、案件に対する市民の意見を約1か月間募集する。実施機関は、市民から提出された意見を考慮して意思決定を行い、提出された意見及びこれに対する市の考え方を公表する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,477	1,411	1,382	1,382	1,382	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	45.00	20.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページにて当該年度に実施する予定のパブリックコメント手続の案件公表
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	案件当たりの提出意見数 (件)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績	26.2	28.2	75.6	5.3	28.8	0.0
指標の概要	パブリックコメント手続を実施した案件1件あたりにおいて提出された意見数（小数点以下四捨五入）					

2	指標名	意見募集を行った案件の数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	13.0	17.0	5.0	10.0	9.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	パブリックコメント提出意見により修正した案件の数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	9.0	12.0	3.0	5.0	6.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	パブリックコメントの意見が多く集まるよう意見募集に関する情報発信（SNSやつくスマアプリの活用）について追記したマニュアルを職員へ周知し、パブリックコメント手続実施部署へパブリックコメント実施案件の周知方法に関して助言するとともに、円滑な事務執行を支援した。	
成果	パブリックコメント手続を実施する部署に対する手続事務の標準フローの事前送付や相談対応をするなど、円滑な事務執行を支援した。また、市HP等の作成を通じた市民への周知を支援し、市民との協働による市政を推進した。	
課題	業務	市民との協働による市政の推進にあたり、引き続き市民からの意見がより多く集まるよう工夫を図る必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	引き続き、パブリックコメント手続を実施予定の担当課への支援を適切に行うとともに、随時パブリックコメント手続運用マニュアルを見直しながら、円滑な事務執行を支援をする。また、市民との協働による市政の推進にあたり、パブリックコメント手続以外の市民参加の手法の周知・助言も随時行う。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	077 職員提案制度					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市職員
目的	市政の更なる発展と職員の意識改革及び士気の高揚を図る。
概要 (取組内容)	職員から、①事務事業提案、②身近な提案、③改善結果報告の提出を求める。これらについて、調査会議（課長級）にて調査及び審査を実施し、審査委員会（副市長・部長級）にて審査を実施し、表彰候補の選定を行い、市長に報告し表彰を決定する。※令和4年度、5年度は制度見直し検討のため休止

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,489	1,362	691	691	691	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	職員提案・改善報告件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	実績	30.0	42.0	22.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	年間の提案総件数 ※令和4年度に「職員なんでも意見・提案」を実施し、令和4年度・5年度は休止中						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	市が目指す組織づくりの方向性に合致するとともに、職員の声をより引き出せるような制度に向けた改善の検討を行った。	
成果	特になし ※令和5年度も引き続き休止	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	令和6年度以降の改善後の制度について、令和4年度に実施した職員提案制度の代替手法の実施結果及び、継続して行われている提案の実施検討状況も踏まえ、調整する必要がある。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	2	事務事業の統合、縮小を検討する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	081 未来構想等推進事業					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市民（市内に在住、在勤、在学する人を含む）、市職員
目的	つくば市未来構想及び戦略プランの着実な推進により持続可能なまちづくりを進める。
概要 (取組内容)	つくば市未来構想を運用して行くに当たり、毎年度の進捗管理を行う。 未来構想等推進本部、未来構想等推進会議、未来構想等幹事会、未来構想等専門部会の運営。 第2期つくば市戦略プラン（2020年～2024年）施策評価の実施。 ※令和5年度からの追加事項：次期戦略プラン策定に向けた検討の実施

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	1,037	533	13,840	13,627	375	
	決算額	(千円)	348	294	12,464	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	348	294	12,464	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,635	5,547	17,813	15,026	14,541	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.70	2.30	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	350.00	319.00	795.00	500.00	300.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページにて取組状況を公表
企画・立案、計画	未来構想等推進会議、未来構想等審議会（広く関係者の意見を聞く場）
実行	—
評価、検証	未来構想等推進会議

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和5年度に実施した専門部会の運営においては、これまでの実施を踏まえ、一部の作業においては工数の削減を図ることができた。引き続き、可能な限り工数の削減を図るよう検討を進めていく。	
成果	現行計画の進行管理については、会議開催の業務手順の標準化を図りつつ、令和4年度事業計画の取組状況と個別施策に付随する指標の進捗を踏まえた評価を行うとともに、より適切な進行管理の方法について意見交換を行い、理解を深めた。次期計画の策定については、審議会の開催や意見交換会を実施し、基礎調査等を含めた検討を進めた。	
課題	業務	現行計画の進行管理に取り組む過程で明らかとなった「市民意識調査の結果を中心に用いた成果指標」や「社会情勢の変化への対応」、「個別計画との関係」に関する課題の整理し、解決策の検討を進める必要がある。
	組織、予算等	令和5年度は現行計画の評価を行いつつ、次期戦略プランの策定を進めていく中で大幅な事務量の増加があったことから、委託事業者の見直しも活用しつつ効率的に業務を進める必要がある。
改善目標	職員の負担を軽減するとともに、社会情勢の変化に柔軟に対応しながら「2030年の未来像」を実現するため、審議会や意見交換会の意見等を踏まえ次期計画の策定を進める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	953 大規模事業評価制度手続事務					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市大規模事業の進め方に関する基本方針、つくば市大規模事業評価委員会条例、つくば市大規模事業を実施する際の評価に関する要綱			SDGs		

事業の概要

対象	市職員（附属機関委員を含む）					
目的	大規模事業を実施する際に、事業の着手の妥当性を検証し、市としての対応方針の決定に資するとともに、意思形成過程の透明化を図る。					
概要 (取組内容)	内部評価（職員）及び外部評価（有識者で構成する附属機関）による大規模事業評価を実施するとともに、その過程及び結果を公表する。					

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	240	269	277	282	282	
	決算額	(千円)	410	7	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	410	7	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,342	1,485	1,382	1,504	1,504	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	250.00	50.00	0.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	大規模事業評価実施件数 (事業)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	大規模事業評価を実施した事業数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	事業所管部署から制度に関する問合せを受けた際には、令和4年度に充実させた職員向け運用マニュアルを用いて説明を行っている。	
成果	適用除外案件の公表（3件）により、市の意思形成過程の透明化を図った。また、庁内予定案件調査を実施し、職員へ当該制度の周知や大規模事業評価対象案件の把握を行った。	
課題	業務	大規模事業立案時の重要検討事項について、職員向け運用マニュアル等を用いて施設整備事業担当職員の理解浸透を図る必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	080 市民参加推進に関する事業						
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費				担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約	16				係名	行政経営係	
戦略プラン	I-1	3	1	市政情報等の発信		新規・継続	継続
	I-1	3	2	審議会等への公募市民委員の参加推進		事業分類	自治事務（任意）
個別計画	つくば市市民参加推進に関する指針					事業体制	職員のみ
	根拠法令等						事業期間
					SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
						17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民（市内に在住、在勤、在学している人を含む）、市職員
目的	市政運営の過程において、市民が市政に意見を反映させるための機会をつくる。
概要 (取組内容)	市民参加の実施予定及び結果の取りまとめ、公表 各課等で所管する附属機関及び懇談会等の市民委員選考状況の管理 無作為抽出による委員等候補者の登録管理 市民委員意見交換会及び市民委員アンケートの実施 庁内アンケートの実施

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	6	25	32	40	40	
	決算額	(千円)	13	15	10	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	13	15	10	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,294	2,166	2,873	2,194	2,194	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	50.00	330.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	—
実行	市ホームページでの情報発信、市民委員意見交換会、市民委員アンケート
評価、検証	—

指標の推移

指標名	審議会等で自身の意見を言うことができた市民委員 (%)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	86.6	82.0	83.4	82.0	84.9
指標の概要	審議会等に参加した市民委員へのアンケートで、意見を「言うことができた」「どちらかというと言うことができた」と回答した人の割合					

2	指標名	市民委員を募集した附属機関及び懇談会等 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
	指標の概要	市民委員の募集が可能な附属機関及び懇談会等のうち、実際に市民委員を募集した附属機関及び懇談会等の割合（個別施策 I-1-③市政への市民参加の推進 指標 1）					
3	指標名	市政に市民が参加できる環境が整っていると思う市民の割合 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	34.0	0.0	38.0	40.0
	実績	29.4	0.0	30.7	30.6	29.2	0.0
	指標の概要	市政に市民が参加できる環境が整っていると思う市民の割合（基本施策 I-1 市民と共に創るまちづくりを推進する 指標）					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年度の行政経営懇談会からの提言を踏まえ、市民委員経験者を対象としたアンケートの結果から、市民委員募集・会議運営のポイントをまとめた資料を作成し、庁内に周知を行った。
成果	市民委員経験者を対象に第3回目となる市民委員意見交換会を開催し、実施結果及びアンケート結果を市HPに掲載した。また市民委員意見交換会で参加者から出た意見等を踏まえ、意見交換会の結果概要について庁内に周知を行うとともに、市民委員選考事務の手引きの改訂することで、市民委員選考の事務手続き及び市民委員が参加する会議運営の改善に向けた取組を進めることができた。
課題	<p>業務 市民委員意見交換会で出た意見の中に、「市民委員に求める意見や期待される役割が不明確なので、気軽に参加できるよう情報発信をした方がよい」というのがあったため、広報紙等で市民委員制度についての周知を図る必要がある。また、市民委員経験者アンケートの結果を効果的に活用していく必要がある。</p> <p>組織、予算等 特になし</p>
改善目標	引き続き、過去の行政経営懇談会の提言や、市民委員意見交換会での意見を踏まえ、幅広い世代の市民の積極的な市政への参加を促進するための具体的な取組を検討する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	058 つくば市OB人材活動支援事業					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン	II-2	2	1	生涯にわたる学びの場の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	-			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
	-				16平和と公正をすべての人に	
	-				17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	高度な知識や専門技術を持つシニア（概ね50歳以上）、市民
目的	研究学園都市の特色である高度な知識や専門技術を持つシニア層の方々が、現役引退後もいきいきと活動できるよう支援する。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> 高度な知識や専門技術を持つシニアの方が自らの専門分野を登録し、講師派遣や助言等を希望する方に「つくば市シニア・エキスパート」として紹介する。 「つくば市シニア・エキスパート便覧」を作成・配布するとともに、ホームページや広報紙を活用して事業周知を図る。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	76	9	9	39	39	
	決算額	(千円)	0	9	11	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	9	11	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,416	1,411	1,479	1,479	1,479	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	40.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	登録者の活動回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	590.0	680.0	690.0	700.0	300.0	300.0
	実績	668.0	123.0	6.0	4.0	74.0	0.0
	指標の概要	(個別施策II-2-②誰もがつながり役割を持てる社会参加の環境整備 指標2)					

2	指標名	新規登録者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0
	実績	10.0	4.0	4.0	2.0	8.0	0.0
	指標の概要	(個別施策Ⅱ-2-②誰もがつながり役割を持てる社会参加の環境整備 指標2) ※令和5年度から設定(過年度分は実績値のみ記載)					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染症の影響による活動数の激減からの回復を目指し、これまでの活用回数が多い利用者へ活用を促すとともに、パンフレット・便覧の配布やホームページでの周知に加え、中断していた市広報紙への掲載を再開した。	
成果	これまでの活用回数が多い利用者において一定の活用があったことや、活用を新たに希望する利用者が見られ、活用実績を前年度比で大幅に伸ばすことができた。また、パンフレット・便覧の配布やホームページでの周知に加え、中断していた市広報紙への掲載を再開させることで本事業を広く周知することができた。	
課題	業務	-
	組織、予算等	他部署において類似の取組があることや、講師の多くは研究機関や大学との関係があることから、本事業を発展させるに当たっては、生涯学習や科学技術を所掌する他部署と連携する必要がある。
改善目標	活用の促進や事業の周知を継続的に実施するとともに、利用者のニーズや登録者の活動意欲に沿った効果的な事業の在り方を検討する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	076 指定管理者制度手続事務					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン	II-4	2	2	民間活力導入の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	指定管理者制度に関する基本方針				事業期間	毎年度
根拠法令等	公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例				SDGs	11住み続けられるまちづくりを
						17パートナーシップで目標を達成しよう

事業の概要

対象	市民、事業者、市職員
目的	住民サービスの向上を図るとともに、施設運営経費等の効率的活用を図る。
概要 (取組内容)	各担当課に対し指定管理者導入事務に係る調整、支援に加え、新規導入施設を把握するため導入調査を実施するとともに、新規及び更新施設を対象として、指定管理者候補者選定検討会議を実施する。また、指定管理者による継続的・安定的な管理・運営を目指し、第三者評価を含めたモニタリングの実施を支援する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	385	699	2,430	2,706	2,706	
	決算額	(千円)	281	491	1,364	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	281	491	1,364	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,390	4,628	5,318	3,733	3,248	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.60	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	400.00	500.00	484.00	400.00	200.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	—
実行	市ホームページでの情報発信、第三者モニタリング時に利用者ヒアリング調査の実施
評価、検証	指定管理者候補者選定検討会議の開催

指標の推移

1	指標名	指定管理者選定件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	3.0	6.0	1.0	5.0	2.0	0.0
	実績	0.0	0.0	1.0	6.0	3.0	0.0
	指標の概要	指定管理の選定を行う指定管理施設数					

2	指標名	()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	モニタリング業務については、外部の専門的な知見を活用した見直しと第三者評価機関によるモニタリングの実施により、業務の効率化を図った。	
成果	3施設の指定管理者の候補者選定及び前年度の指定管理者による管理運営状況への評価結果を市ホームページに公表することで、事業の透明性を確保し、市民に適切な情報を提供できた。候補者選定では、新規施設を中心に担当課への適切な支援により、予定どおり選定事務を進めることができた。モニタリング業務では、効率的に業務を進められるよう様式・手順の見直しを行った。	
課題	業務	令和6年度から新モニタリング制度の運用を開始するに伴い、担当課や指定管理者が円滑に運用できるように、適切な支援が求められる。
	組織、予算等	特になし
改善目標	外部の知見も活用しながら、新モニタリング制度に関する研修を実施するなど、担当課や指定管理者が円滑に運用できるように、適切に支援していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	078 PPP/PFI優先的検討規程策定事務					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン	II-4	2	2	民間活力導入の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよ	

事業の概要

対象	市職員
目的	公共施設等の整備・運用に際し、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し、効率的かつ効果的な公共施設等の整備等を進める。
概要 (取組内容)	公共施設等の整備及び運営を計画するに当たり、従来型手法に優先してPPP/PFI手法を検討するためのルール作りを検討する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	0	2	2	2	2	
	決算額	(千円)	0	0	14	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	14	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	684	681	815	1,382	1,382	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	51.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	施設マネジメントを担当する部署と連携を図り、規程の検討を進めた。	
成果	内閣府主催の説明会への参加（令和6年2月）や当市と同様に規程の検討を進める自治体と情報交換を行い、規程について調査・研究を進め、検討状況を庁内関係各課と共有を図った。	
課題	業務	内閣府及び総務省からPPP/PFI手法導入優先的検討規程の策定及び運用について、人口10万人以上の自治体に対して要請が出されており、規程の策定及び運用体制の検討が急務である。
	組織、予算等	施設整備事業に関する知識とPPP/PFI事業に関するノウハウや人員が不足している。
改善目標	施設整備事業に関する知識とPPP/PFI事業に関する情報収集を図り、規程の策定を進める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。（未達成）
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	